

## 題材の目標

- (1) 光の形や色彩の変化が感情にもたらす効果などを基に、空間に与える印象を全体のイメージで捉えることができる。材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追究して制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表すことができる。
- (2) 光がつくり出す空間の美しさを基に、使う場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて光の色や影の効果など調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。光がつくり出す空間の美しさや機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光や影の効果を基に構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追究し見通しをもって創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

【準備等】タブレット端末、カメラ、視聴覚機器、筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 作品を鑑賞し、イメージを膨らませる。</p> <p>★光の印象は作品のどのような工夫から生じるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然光や人工の光による作品を鑑賞し、感じたことを発表する。</li> <li>○ 影に注目して鑑賞し、感じたことを発表する。</li> <li>○ 教室を暗くして参考作品を提示し、光と影や空間の変化の面白さや美しさを鑑賞し、感じたことをまとめる。</li> <li>○ 光源とさまざまな材料を組み合わせるなどして、作品へのイメージを膨らませる。</li> </ul> <p>2 構想を練る。</p> <p>★光と影の効果を考え、作品の構想を練ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時で体験したことや設置空間を基に主題を生み出し、空間を飾るイメージや材料、光と影の効果を考え構想を練る。</li> <li>○ アイデアスケッチをし、解説文を書く。</li> <li>○ 主題を基に選択した材料を使い、見通しをもって計画を練る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木漏れ日や教会の窓、ステンドグラスなどの自然光や、蝋燭による明かり、LEDライトによるスタンド、提灯などを視聴覚機器により提示し、それぞれどんな感じがするか感じたことを発表させる。</li> <li>・ 2次元コードを読み取り、教科書の作品を活用して影にも注目させる。</li> <li>・ 材料による遮光、反射、透過、拡散などの光の表情と空間の変化を感じ取らせる。</li> <li>・ 光源や様々な材料を自由に選択させ、光や影と材料との関係を把握させる。</li> <li>・ カメラやタブレット端末を活用して記録させる工夫をする。</li> </ul> <p>【評】光や影の効果を生かしてデザインすることに興味をもち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫を感じ取ったりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな場面にどのような演出をするか、またどのような材料でどのような効果を使って表現するかなど、計画を練らせる。</li> <li>・ 表したいイメージをアイデアスケッチさせるとともに解説文を記述させ、構想を明確にさせる。</li> </ul> <p>【評】光がつくり出す空間の美しさ、使う場面などを基に、光の色や影の効果を考え構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主題を効果的に表せるよう、安全性や機能性を十分に考えて制作させる。</li> <li>・ 接合が困難な材料や、壊れやすい材料などについては注意を促し、実現可能な手段や計画であるかを確認する。</li> </ul> <p>【評】光の形や色彩の変化に着目し、空間に与える印象を捉え、材料や用具の特性を生かし見通しをもって表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

<p>3 鑑賞会を行う。</p> <p>★作品を鑑賞し、光や影の効果を感じ取ろう。</p> <p>○教室を暗くし、鑑賞会を行い、表現の意図や工夫について発表し合い、よさや美しさを感じ取り味わう。</p> <p>○光や影の効果によって豊かな生活を生み出す美術の働きについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の作品のよさや表現の工夫に共感して味わえるよう、肯定的な見方で鑑賞会が行えるよう工夫する。</li> <li>・生活を美しく豊かにするための美術の働きについて考えさせる。</li> </ul> <p>【評】光や影がつくり出す造形的なよさや美しさ、空間に与える印象などを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする働きについて考え、見方や感じ方を深める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
---	---

【 備 考 】

光や明かりによって人は温かさや安らぎなどを感じる。また光によって生まれる影は不思議な世界をつくりだす。本題材では、光と影を効果的にデザインし、空間を飾って楽しむ学習を行う。導入では、光について自然光や人工の光などの美しさを感じ取らせるなどして、制作への意欲をもたせる。また展開では、教室を暗室にするなどして光や影の効果を体験させながら構想を練らせていく。